

平成 30 年 6 月 13 日

各 位

株式会社 北日本銀行

きたぎん地方創生セミナー開催のお知らせ
「自治体・民間資金/ノウハウの活用について」
～社会的課題解決投資/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)～

株式会社北日本銀行(頭取:柴田克洋)では、社会的課題や財政課題を抱える自治体において、行政コスト削減等の課題解決を目的とした民間ノウハウや民間資金活用手法の新しい官民連携ファイナンスとして注目されるソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)の普及促進・導入を目的として、下記の通り、セミナーを開催致しますので、お知らせ致します

当行は、今後も地方創生における取り組みの一環として、SIBの普及促進・導入を進めることで、地域経済活性化に向けた取り組みに努めて参ります。

記

1. セミナー概要

題 名	きたぎん地方創生セミナー「自治体・民間資金/ノウハウの活用について」 ～社会的課題解決投資/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)～
開催日時	平成 30 年 6 月 28 日(木) 13:30 ~ 17:00
開催場所	きたぎん材木町ビル7階会議室(住所:岩手県盛岡市材木町2-23)
対 象	岩手県内市町村の企画・政策担当者、地方創生関連事業(自治体からの受託事業等)に関心のある企業
定 員	50名程度
費 用	無料
主 催	当行
講師協力	経済産業省、一般財団法人社会的投資推進財団(1)、ケイスリー株式会社(2) 株式会社キャンサーキャン(3)
後 援	岩手県

(1) 一般財団法人 社会的投資推進財団

社会的課題解決を目的とした投資である社会的インパクト投資の普及をミッションとして、公益財団法人日本財団の協力を得て、平成 29 年 4 月に設立。ソーシャル・インパクト・ボンドをはじめとした社会的インパクト投資のモデル開発や実施、その普及のための環境整備・調査研究・政策提言に取り組んでいる。

(社会的投資推進財団ホームページ: <http://www.siif.or.jp/>)

(2) ケイスリー株式会社

平成 28 年 3 月設立、本社東京都。事業概要は、SIB を含む社会的インパクト投資及び社会的インパクト評価に特化したコンサルティングサービスを提供。社会の仕組みの変革を通して社会課題の解決を目指しており、SIB 等専門の導入支援団体として設立し、みずほ銀行が資金提供する八王子市の SIB 導入を推進。

(3) 株式会社キャンサーズキャン

平成 20 年 11 月設立、本社東京都。事業概要は、ソーシャルマーケティングと AI (人工知能) を活用し、人々の行動変容を促すヘルスケア事業の企画・介入であり、全国約 300 自治体にて介入を行っている。一般財団法人社会的投資推進財団やみずほ銀行が資金提供した東京都八王子における大腸がん検診をテーマとした SIB のサービス提供者として事業に関与。

2. プログラム

【第一部】 13:40~14:30
<ul style="list-style-type: none">● ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) について<ul style="list-style-type: none">・ 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課・ 一般財団法人社会的投資推進財団 常務理事 工藤七子
【第二部】 14:40~15:30
<ul style="list-style-type: none">● ヘルスケア領域におけるソーシャル・インパクト・ボンド活用事例について<ul style="list-style-type: none">・ 株式会社キャンサーズキャン 代表取締役 福吉潤・ ケイスリー株式会社 代表取締役 幸地正樹
【パネルディスカッション】 15:40~16:50
<ul style="list-style-type: none">● (仮) 岩手県におけるソーシャル・インパクト・ボンドの導入可能性 ~ 地方創生と社会的課題解決 ~<ul style="list-style-type: none">・ 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課・ 一般財団法人社会的投資推進財団 常務理事 工藤七子・ 株式会社キャンサーズキャン 代表取締役 福吉潤・ ケイスリー株式会社 代表取締役 幸地正樹

3. お申込み方法

- 別紙パンフレット「きたぎん地方創生セミナー『自治体・民間資金/ノウハウの活用について ~ 社会的課題解決投資/ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) ~』参加申込書」に必要事項を記載の上、北日本銀行各支店の窓口または担当者、もしくは営業統括部 地域事業支援室へ FAX (019-624-7140) にてお申込みください。
- 電話でのお申込み・お問い合わせは、北日本銀行各支店の窓口または担当者、もしくは営業統括部 地域事業支援室 TEL (019-626-6468) で承ります (平日 9:00~17:00)。

4. お申込み締切日

平成 30 年 6 月 26 日 (火)

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 地域事業支援室
(担当 : 篠村・松本)
TEL : 019-626-6468

きたぎん地方創生セミナー

「自治体・民間資金/ノウハウの活用について」

～社会的課題解決投資/ソーシャルインパクトボンド（SIB）～

2018年

13:00 受付開始、13:30 開始～17:00

6月28日(木) きたぎん材木町ビル7階会議室(会場)

本セミナーは、社会的課題や財政課題を抱える自治体において、行政コスト削減等の課題解決を目的とした民間ノウハウや民間資金活用手法の新しい官民連携ファイナンスとして注目されるソーシャルインパクトボンド（SIB）の普及促進・導入を目的とするものです。今後、地方創生における取り組みの一環として、自治体広域連携や分野別のSIB取組、PFIとSIBの融合による取り組みをサポートしていきたいと考えています。

◆プログラム

13:30-13:40	開会のご挨拶 株式会社北日本銀行 取締役営業統括部長 藤田克弘
13:40-14:20	第一部 ● ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）について 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 一般財団法人社会的投資推進財団 常務理事 工藤七子
14:20-14:30	質疑応答 休憩
14:40-15:20	第二部 ● ヘルスケア領域におけるソーシャル・インパクト・ボンド活用事例について 株式会社キャンサーズキャン 代表取締役 福吉潤 ケイスリー株式会社 代表取締役 幸地正樹
15:20-15:30	質疑応答 休憩
15:40-16:30	パネルディスカッション ● (仮) 岩手県におけるソーシャル・インパクト・ボンドの導入可能性 ～地方創生と社会的課題解決～ 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 一般財団法人社会的投資推進財団 常務理事 工藤七子 株式会社キャンサーズキャン 代表取締役 福吉潤 ケイスリー株式会社 代表取締役 幸地正樹
16:30-16:50	質疑応答
16:50-17:00	閉会のご挨拶 株式会社北日本銀行 営業統括部地域事業支援室長 松本 孝直

主催 : 株式会社北日本銀行
講師協力: 経済産業省、(財)社会的投資促進財団、
(株)キャンサーズキャン、ケイスリー(株)
後援 : 岩手県

 北日本銀行

◆開催概要

開催概要	会場
<p>日時 : 平成 30 年 6 月 28 日 (木) 13:30~17:00 (受付開始 13:00)</p> <p>会場 : きたぎん材木町ビル 7階会議室 (株式会社北日本銀行 材木町支店) 〒020-0063 岩手県盛岡市材木町 2-23 TEL (019) 635-3144</p> <p>申込方法: 事前申込制 詳細は下記をご参照下さい</p> <p>参加費 : 無料 ※定員 50 名</p>	 <p>きたぎん材木町ビル7階会議室 岩手県盛岡市材木町 2-23 (※) 無料駐車場はございません。 公共交通機関又は周辺の有料駐車場をご利用ください。</p>

参加申込書

お申し込み方法

●下記参加申込書にご記入の上、北日本銀行 各支店の窓口
または担当者、もしくは FAX にてお申し込み下さい。

FAX [019-624-7140]

お問い合わせ

●詳細・申込みにつきましては、北日本銀行各支店の窓
または担当者もしくは、北日本銀行営業統括部地域事
業支援室(担当:篠村、松本)までお問い合わせ下さい。

TEL [019-626-6468]

お申し込み締切日

申込締切: 平成 30 年 6 月 26 日 (火) ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

貴団体名			
ご住所			
T E L		F A X	
E - MAIL			
部署・役職		氏名	
部署・役職		氏名	

ご注意ください

●申込書にご記入いただきました情報につきましては以下の目的に使用いたします。

- ①セミナー運営上の管理および各種ご提案のため
- ②経済産業省、(財)社会的投資促進財団、(株)キャンサーズキャン、ケイスリー(株)への情報提供のため(当該申込書への商品・サービスの案内および共同で行うサービス提供のため)

主催 : 株式会社北日本銀行
講師協力: 経済産業省、(財)社会的投資促進財団、
(株)キャンサーズキャン、ケイスリー(株)
後援 : 岩手県

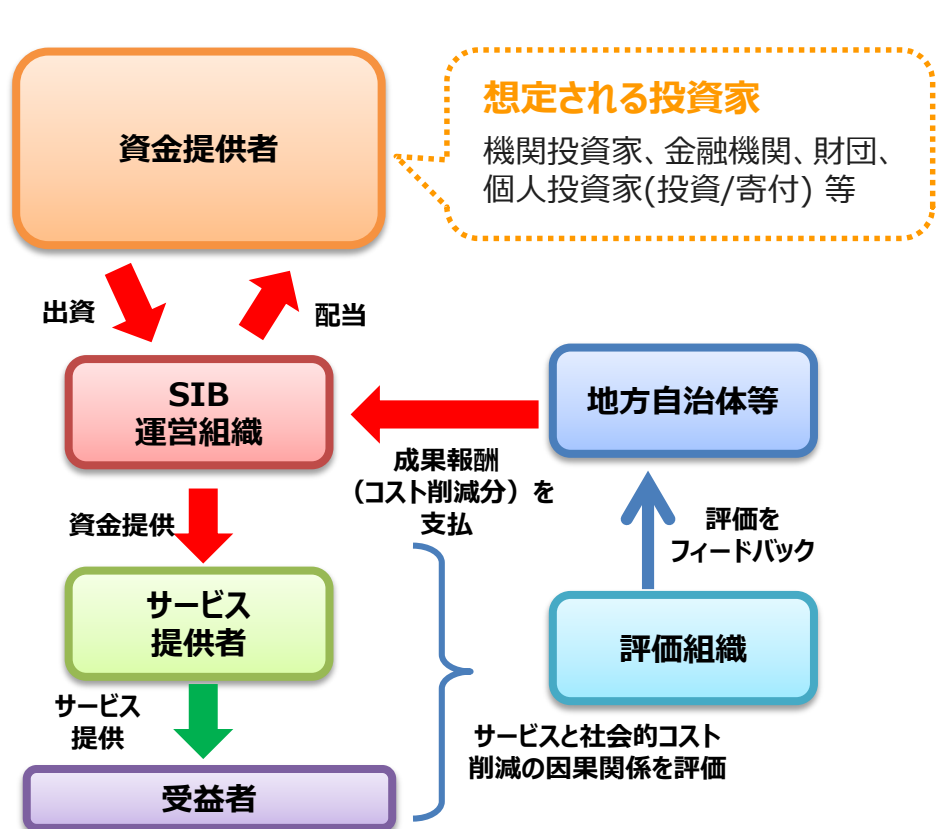
新しい官民連携の仕組み： ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の概要

経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課

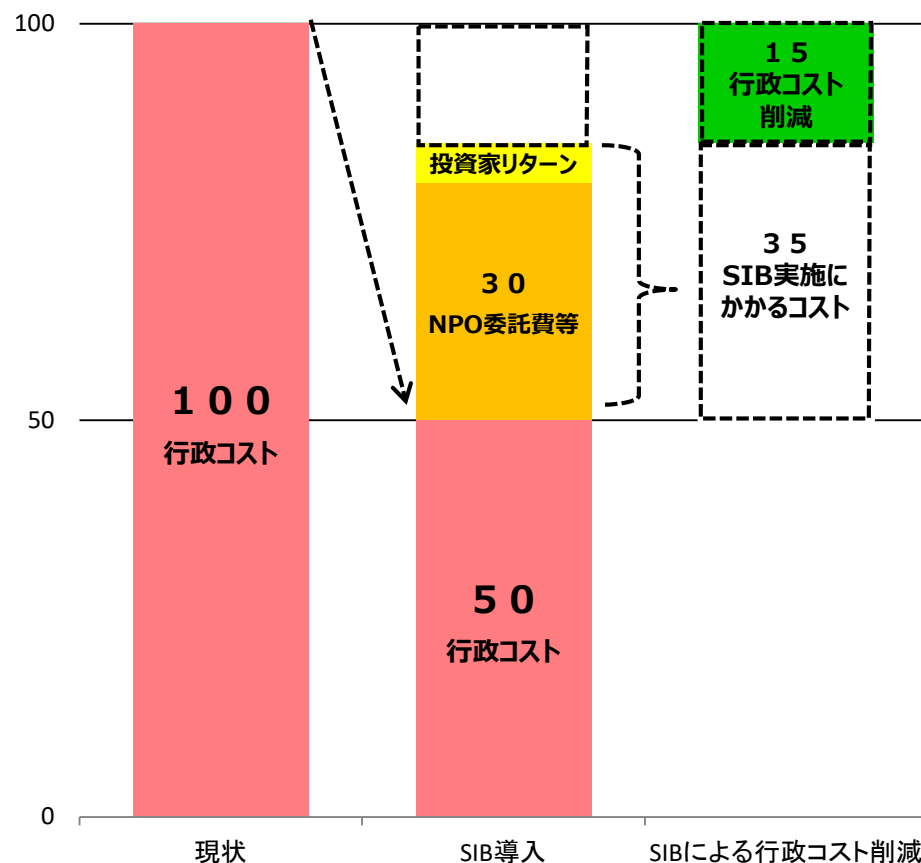
ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）とは

- SIBとは、民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払の原資とすることを目指すもの。
- ニューヨーク市等では、民間事業者の活動の社会的インパクト（行政コスト削減等）を数値化し、自治体等がその成果報酬を支払うSIBの導入が図られ、民間資金の活用が進んでいる。

<SIBの一般的なスキーム>

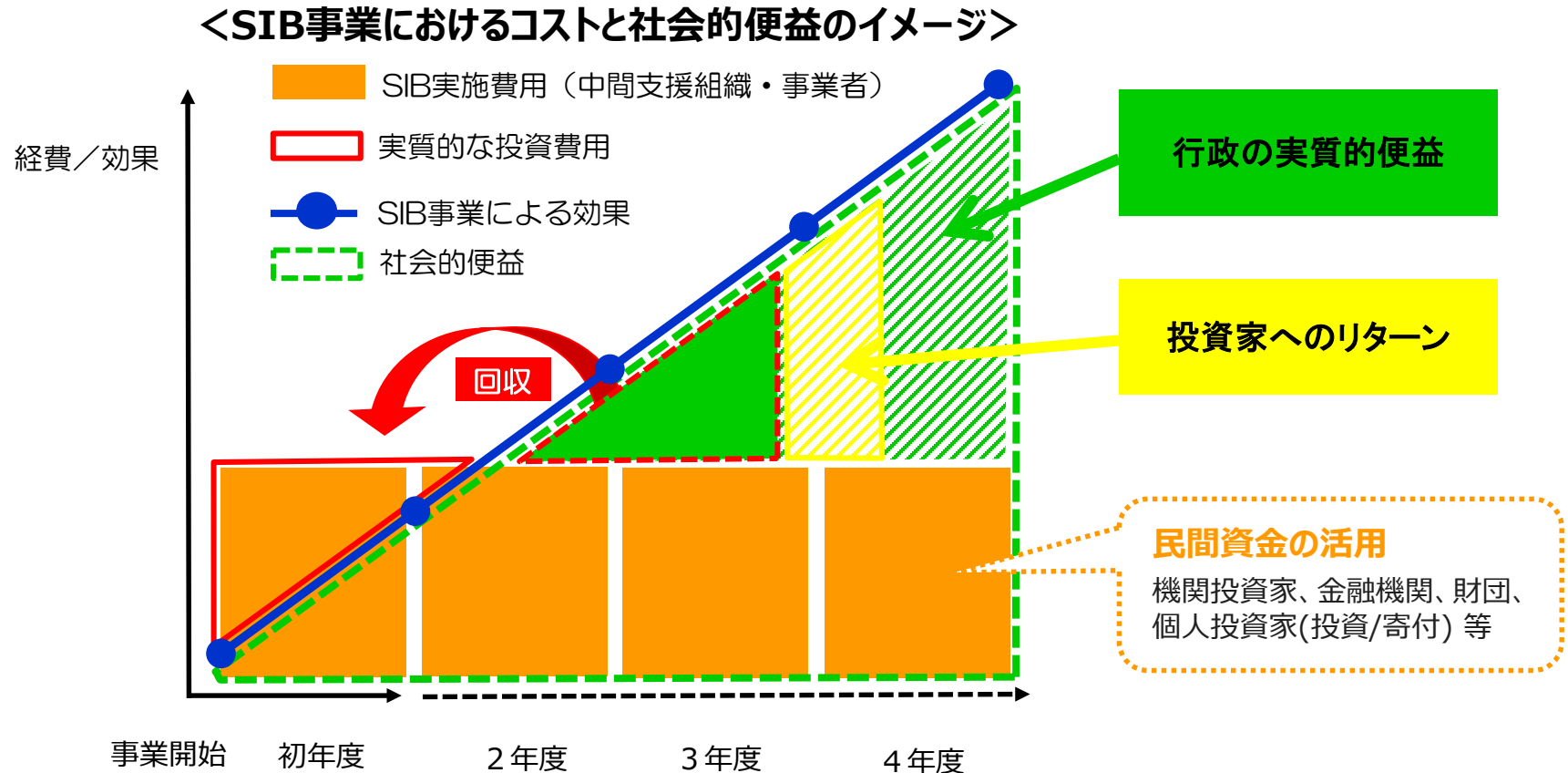


<SIBによる行政コスト削減イメージ>



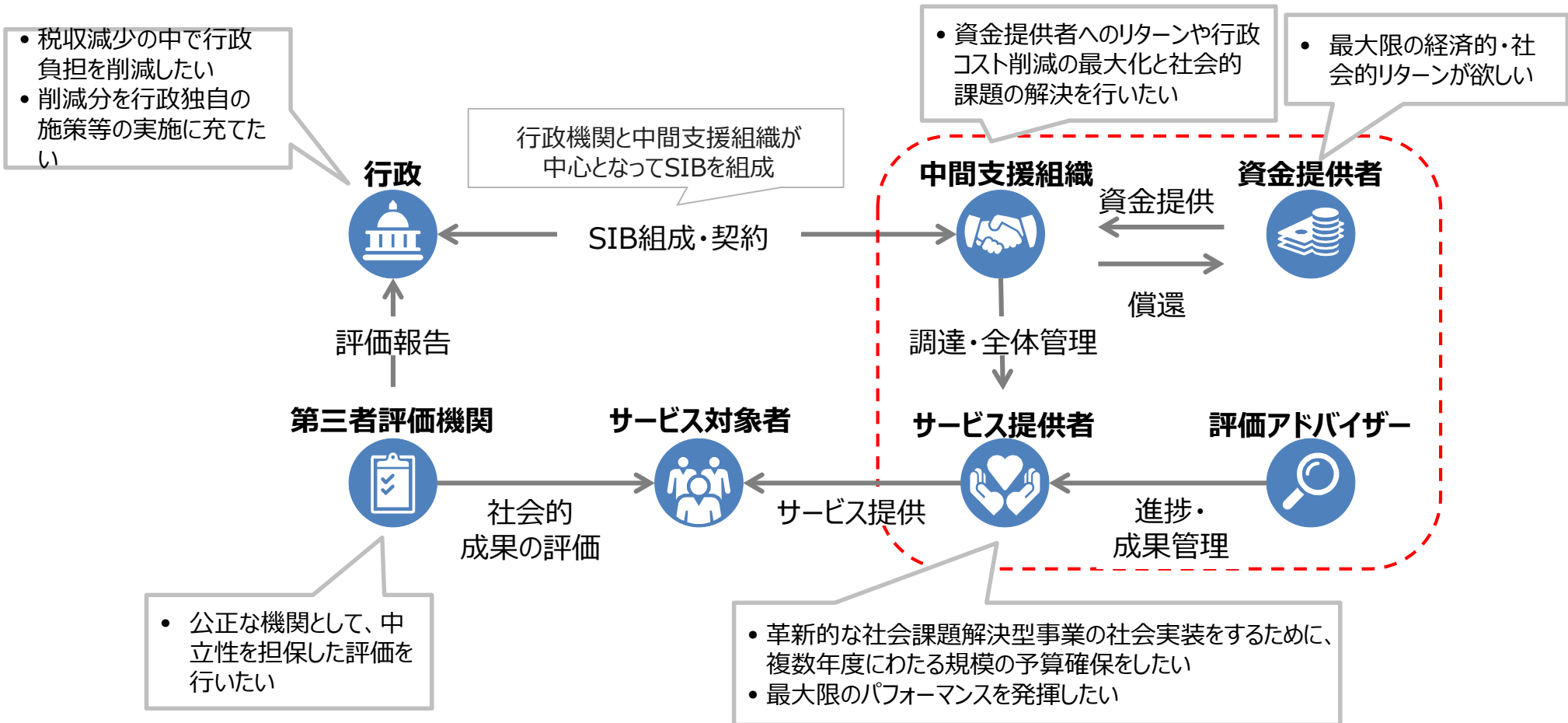
行政がSIB導入に取り組む意義

- 初期投資を民間資金で賄い、成果報酬型の事業を実施するSIBは、複数年度に渡る事業として設計し、初期投資に大きな費用を要する予防的な事業に取り組む際に、特にその効果を期待することができる。
- また、SIBの実施に際しては、行政・資金提供者・事業者の合意が取れる成果指標とその評価方法を設定する必要があるため、結果的に、事業の成果に関して関係者（住民、議会、庁内財政当局等）に対する説明責任を果たすことが可能となる。



SIBの具体的な組成・推進体制（イメージ）

- SIBを実施する際には、**中立的に事業成果を評価する第三者評価機関**や、行政・資金提供者・サービス提供者等の**調整・案件形成等を担う中間支援組織**が必要とされる。
- 現実には、**評価や組成・管理にも相応のコストがかかる**ことを踏まえ、**事業の規模や性質に応じた適切な推進体制を検討することが重要**。



(参考) SIB推進体制における主な想定組織

主なSIB推進体制

想定組織



行政

中央政府、都道府県、基礎自治体



中間支援組織

財団等非営利団体、シンクタンク・コンサルティング会社等営利団体 など



サービス提供者

NPOなどの非営利団体、社会的企業や一般企業などの営利団体 など



資金提供者

個人投資家（寄付、純投資）、法人（財団、企業CSR、金融機関）、その他休眠預金の活用 など



評価アドバイザー

シンクタンク、コンサルティング会社 など
（中間支援組織が担うことも可）



第三者評価機関

大学、評価専門組織、監査法人 など